

待機児童0時代への突入に向け「成長戦略を創りたい」  
これ以上保育展開は望まずとも「新たな事業の柱」を確立したい  
地域密着で新たな事業を展開したい 社会福祉法人理事長様へ

# 認可保育所が 公立学童保育に 参入して生まれた 3つの価値とは？！

待機児童0になっても地域で選ばれる法人になるために  
認可保育所×学童保育で今から準備を！

ゲスト講師



社会福祉法人敬愛学園

理事長・学園総合長 **塚本 定代 氏**

東京都八王子市と町田市で11か所の認可保育所と  
八王子市内8か所の学童保育所の指定管理を運営

『保護者の評判が高い、保育園の運営法人ランキング』  
2年連続1位！学童が保育園へ好影響？！その秘訣とは？

check 学童保育を運営することで得られる3つの価値とは？！

公立学童保育参入の**成功事例**レポートはこちら

【公立学童参入セミナー】 お問い合わせNO:S048721

主催

明日のグレートカンパニーを創る  
Funai Soken

TEL : 0120-964-000 (平日9:30~17:30)

FAX : 0120-964-111 (24時間受付)

申込に関するお問い合わせ：星野 / 内容に関するお問い合わせ：近藤

WEBからもお問合せいただけます。右上検索窓に『お問合せNo』を入力ください。

【発行人】 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル

社会福祉法人 敬愛学園  
理事長・学園総合長  
塚本 定代 氏

東京都八王子市と町田市で、11か所の認可保育所と八王子市内8か所の学童保育所の指定管理を運営している。保育園においては、『保護者の評判が高い、保育園の運営法人ランキング』にて、町田市2年連続1位を獲得し、保護者や自治体からの支持を得ている。



## 当時は奉職と思い・・・自主学童からのスタート

当法人の歴史は長く、安政6（1859）年、教育がまだ限られた一部の人しか受けられない時代。「女性にも学問を！」との妻の遺言から上領頼軌が多くの人々に学問の機会をと山口県の萩において「敬愛塾」を開塾しました。時は過ぎ、終戦後、日本に引き揚げてきた敬愛学園第二代理事長は、昭和30（1955）年、東京都八王子市の地で地域の強い要望により無認可個人立の幼稚園と保育園との融合一元化した乳幼児教育施設を設立。そして昭和44年、社会福祉法人敬愛学園が認可され、同年に認可保育所を開設いたしました。

その後平成元年、敬愛チャイルドカルチャーセンターを創設し、同時に1施設目の学童となる「さんだ学童クラブ」を開設いたしました。開設前、当時はまだ「学童」というものが確立されていない時代だったため、小学校に上がった保育園を卒園した子どもたちがよく保育園の園庭に遊びに来ていました。「かぎっ子」ですね。

自然と小学生の子どもたちが集まる環境を見ていた当時、「君がここにいるから」という理念のもと、**空いていた土地を購入し、自主学童の運営を開始**いたしました。当時もちろん自主学童でしたので**補助金は無く、保護者から月7,000円程度で預かって**いました。当時は奉職だ、**と思い取り組んで**おりました。

もちろん、このような取り組みは平成元年当時は非常に珍しく、各地から取材の依頼が多数あったことも覚えています。

後に、八王子市から認められ、補助金をいただけるようになりましたが、そこから、現在は八王子市の指定管理者として運営を行っております。



敬愛チャイルド  
カルチャーセンター  
「子育て家庭支援」と  
「児童健全育成」の  
小さな子どもの城

ここまでのお話の通り、「君がここにいるから」の理念の基、**子どもたちがここにいるから、平成元年当時は例のなかった自主学童を開始**しました。八王子市内では、地域の自主学童によって学童が発展してきたこともあり、八王子市の学童保育所の仕様書も地域を重視したもので、社会福祉法人が自治体の方針を作り上げてきたといっても過言ではありません。こういった市の特性が把握できていることも法人運営においては重要となります。

この後の頁で、認可保育所×公立学童保育園を運営することで得られた価値を3つ、お話しいたします。

## 学童保育所の運営があるから保育の質も向上する！

保育園と学童保育所を運営することで、職員確保の難しさはもちろんあります。拠点を増やすことは、職員が増えるということなので、**理念や大切にしている考え方を伝え続ける仕組みづくりが必要**です。

当法人は150年以上の保育・教育の経験を培っており、お子様と保護者のみなさまにとって最高の子育て応援団となり、価値ある学園を創造していくため、職員の育成にも力を入れております。

その一つが、**職種職階別の業務体制**であり、施設が多岐にわたる敬愛学園では、**職種別、職階別に役割が職務基準書により明確になっています。**職員一人ひとりがその役割を果たす中で、お子様にとっても、保護者にとっても、そして職員間同士にとっても、円滑な学園の運営がなされています。

「敬愛学園 職務基準書」は、当法人が必要としている人材像を明示し、全職員が各々の職務、職責を果たすべき力を身につけ、それを発揮することを願い、キャリアパスをより具体化したものです。敬愛イズムを体現し子等の幸せを求め、「明るく・優しく・あたたかい」人たちをもって敬愛文化を創造・醸成していくことを目的に作られました。



このような職務基準書がある中で、**保育士たちは0歳から学童（小学校1・2・3年生あるいは6年生まで）の発達を視野に入れた長期的な育ちを理解しながら生涯を幸せに生きる力の育成に携わることができる**ため、学童保育所の運営は大きな価値となっております。

認可保育所×学童保育 価値2

## 職員の質の向上、協力体制の構築、絆の強化

学園理念とVision実現に向けて『求められる人材像』を明確にし、遂行すべき職務内容や、必要とされる能力、知識、技術、技能を『職種別実務能力』として明示しました。

敬愛学園で働くかぎりは、これを必須のものとしています。

### 職員一人ひとりの成長とは・・・

職員一人ひとりが職務基準書をもとに自らの目標をたて、“敬愛イズム”を身をもって表現し、能力の向上、技術の習得に向けて日々真面目に努力していくことです。

### 敬愛学園の発展とは・・・

一人ひとりの確かな成長と、香り高く優雅な職場風土、組織文化を確立し、優良にして最善な敬愛保育の実現に繋がるものでなければなりません。

この「敬愛学園職務基準書」が職員の皆さんの職務の行動指針となり、日々の行動目標とその振り返りに活用されています。学園の職員一人ひとりが誇り高く、毎日を楽しみ働き、真の“人財”となることが経営者の願いです。そのため、**保育園と学童の両立の難しさは感じたことはなく、すべて同じ法人の職員です。保育園と学童、という分け方はいたしません。それは、学童開設の際には必ず保育園の近くに参入してきたため、エリアごとに職員が協力する体制をとっているためです。**

例えば、学童のおやつも手作りおやつを園から週2日提供しています。また、保育園に通っている子ども達が学童にそのまま上がることが多いため、子どもも先生も顔見知りです。**年長の担任の先生がそのまま学童の職員なることもありました。**

カリキュラム作成も保育園と学童がお互いを理解し合いながら行っております。保育園の行事には学童の先生が手伝いに行ったり、学童でイベントがあれば保育園の先生が手伝いに行くこともあるように、一体となって法人運営をしております。

当法人が、このような徹底的なドミナント戦略をとっているのには、**軸に必ず「人」が存在**しています。大きく分けると下記3つです。

**1. 人財の分散をさせないこと**

**2. 法人職員間のつながりや絆を強くすること**

**3. 徹底的に地域に貢献する体制をとること**

広く福祉に貢献することは勿論良いことです。しかしながら、人財が分散し、保育の質が低下してしまっただけでは、元も子もありません。私たちは、**今持てる力を全て、敬愛を求める方々に手厚く還元したい**、という思いからこのような戦略をとっています。

学童保育では人数が少なく、若い職員や非常勤職員が多いため、施設内のみで十分に職員の育成を行うことは難しいことも認識した上で研修計画を組み立てる必要があります。当法人では、このようなドミナント展開に基づき、**運営している8施設全体で研修を行い、質の向上、均一化を図っています**。保育園の専門性をもった職員が研究したノウハウを参考に、学童の研修を構築し、学童リーダーが職員に対して研修を行っています。その場には**保育園の職員も参加し、学童に対する共通理解を図っています**。

研修内容は保護者対応や子供の対応、ディスカッションなど様々ですが、保育園の先生も参加するため、「それは学童だからね」のような結論にはならないように配慮しております。

学童保育の先生だからこそ伝えられることとしては、

## 1. 小学校との連携の仕方

## 2. 児童のトラブルやその際の保護者対応について

が主となっております。

保育園ではトラブルのすべてを保育園の責任として対応しがちですが、学童になると子ども自身が善悪の判断がつくようになったうえでのトラブルのため、問題解決の仕方が全く異なります。保護者対応の方法で、学童保育から保育園が学ぶことは非常に多く、これも学童保育を運営していなければなかなか気づくことのできない価値だと感じています。

認可保育所×学童保育 価値3

## 自治体・保護者・子どもから求められる法人づくり

職員が頑張っていることもあり、保育園まるごとランキングの「保護者の評判が高い保育園ランキング（東京・町田市、平成31年度）」において、2年連続で1位を獲得することができました。

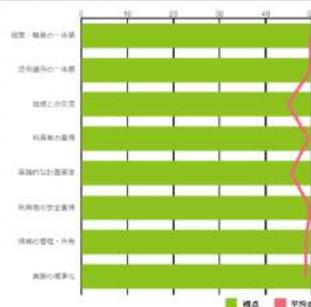
保護者の満足度ランキング(町田市)		★★★★★ 1位 (72園中)		
保護者の満足度ランキング(東京都全域)		24位 (2412園中)		
合計	サービス力	安心・快適性	要望への対応力	組織運営力
★★★★★ 300点中 967点 (平均882点)	★★★★★ 350点中 342点 (平均321点)	★★★★★ 350点中 341点 (平均319点)	★★★★★ 200点中 184点 (平均151点)	★★★★★ 100点中 100点 (平均91点)

さらに、その中でも組織マネジメント項目においては、満点をいただいております。前述した通り、私たちは「人」を軸とした展開をしておりますのでこれは非常に嬉しいことです。

### ●組織マネジメント 400点 (400点満点 (100%)) ★★★★★

経営・職員への一体感 【その割合】 なし	50点 (平均49.8点)
法人運営への一体感 【その割合】 なし	50点 (平均49.8点)
地域との交流 【その割合】 なし	50点 (平均44.8点)
利用者の意識 【その割合】 なし	50点 (平均49.3点)
実践的な計画策定 【その割合】 なし	50点 (平均45.5点)
利用者の安全意識 【その割合】 なし	50点 (平均49.7点)
情報の管理・共有 【その割合】 なし	50点 (平均48.7点)
業務の標準化 【その割合】 なし	50点 (平均48.7点)

※第三者評価機関が、保育園のサービスに対して、「実施していない」と評価した項目



【出典】保育園まるごとランキング

<https://hoikuen-ranking.com/for-parent/machidashi-hoikuen-ranking/>

このように、認可保育所と学童保育を運営することで、保護者から「地域になくてはならない存在」として認識していただき、結果として高い評判を得ることができました。

学童保育を運営することで保育園として得られるメリットを下記のようにまとめました。

### 【対保護者】

●認可保育所が学童保育を運営することにより、園児の保護者がより園に対する信頼を寄せる。

### 【対園児】

●園児が、就学後の学童保育の疑似体験や、学童行事に参加がしやすく、園児も安心して小学校への入学を楽しみに出来る。

### 【対自治体】

●認可保育所と学童保育の連携した運営により、法人への信頼感が増す。

### 【法人内職員メリット】

●学童保育に従事する職員を募集することにより、教員免許のみならず様々な音楽・美術・体育・保健等の専門分野での学びをした幅の広い職員が採用できる。

●専門性を生かした活動が認可保育所や学童保育で発揮出来、自己肯定感、満足感となりはつらつと良い仕事ができる。

●学童に従事する職員として採用した職員がその後国家試験等で保育士資格を取得した場合は、その人物をみて保育園で活躍することも視野に入れた人事構成をすることができる。

## 「遊びの場」「生活の場」「学びの場」を兼ね備える

現在は、認可保育所のみならず学童保育にも待機児童が存在しています。私たちは、現在11カ所の認可保育所と、8カ所の学童保育所の指定管理を行っておりますが、後者の学童保育所についてはすべて八王子市内です。保育園も当該市内と町田市内にしか開設していません。

私たちは子どもたちにとって、学童保育所を「第二のお家」と考えています。子どもたちが心温まる雰囲気の中でたくさんの友だちや職員と生活を共にし、のびのびと過ごしてほしい。私たちは家庭の三要素といえる、「遊びの場」「生活の場」「学びの場」を兼ね備えた居場所となるような「第二のお家」を目指し、4つの環境を整えるよう日々努力しております。

敬愛＝「人を敬い、すべてのものを愛しむ」の教育理念のもと子どもたちにとって、心の居場所となる「第二のお家」、保護者の方にとって「子育ての最高の応援団」、地域の方にとって「笑顔と元気の発信地」を目指します。



それが、

- 1. 安全に過ごせる環境**
- 2. 心の安らぎがある環境**
- 3. 自主・自由な活動がある環境**
- 4. アットホームな環境づくり**

です。これらを子どもたちにとって大切なものとし、複数園の学童保育を開設しても守ってやってまいりました。

これからも、子ども・保護者・地域にとってなくてはならない存在であり続けるため、職員一同精進していきたいと思います。

## 保育園・学童の運営を通じて



# 地域に愛される・選ばれ続ける法人運営を考える

待機児童0時代への突入に向け  
「成長戦略を創りたい」  
これ以上保育展開は望まずとも  
「新たな事業の柱」を確立したい  
地域密着で新たな事業を展開したい

株式会社船井総合研究所

保育・教育支援部  
保育グループマネージャー

伊藤 沙穂理

こんにちは！株式会社船井総合研究所の伊藤沙穂理です。

社会福祉法人敬愛学園様の学童展開手法、職員の質の向上、いかがでしたでしょうか？

これまで学童保育事業には興味があったが、保育事業で手一杯、という法人様も多くいらっしゃると思います。

今回は、新規で学童保育所の開設を検討されている方も、これまで興味があったがなかなかきっかけができなかった法人様も、本レポートを見ていただき、これからの法人運営に活かしていただけるよう、下記のようにポイントをまとめました。

## ポイント1 1法人1施設の運営の限界・・・次なる事業展開へ

学童保育事業は公立学童と民設民営学童の2つに大きく分かります。

その中でも、公立学童は「公設公営」

「公設民営」があり、「民設民営」には厚生労働省管轄で運営されているものと、自治体から補助金をもらわずに運営しているいわゆる民間学童があります。

<b>公設公営</b> 設置：市町村 運営：市町村 運営費：全額税金	<b>公設民営</b> 設置：市町村 運営：社福、株式、地域団体 NPO、父母会、学校法人... 運営費：全額税金
<b>民設民営</b> <small>厚生労働省管轄施設</small> 設置：社福、株式、地域団体、 NPO、父母会、学校法人... 運営：同上 運営費：補助金（一部税金）	<b>民設民営</b> <small>厚生労働省管轄外施設</small> 設置：民間企業（特に定めなし） 運営：同上 運営費：全額利用者負担 ※いわゆる民間学童のこと

現在、民間学童を除いて、この学童保育は全国で25,328カ所あり、全国の小学校よりも多く地域に存在しています。しかしながら、学童保育の待機児童はなんと全国1.7万人！まだまだ足りないのが現状です。

このような背景から、自治体から学童保育をやってもらえないか、というお声がけをいただく法人様も少なくはない状況ですが、一方、学童保育は小学校に併設されているため、そもそも自治体から望まれていない（と思っている）法人様も少なくはないようです。

一方、保育事業のみを見ていると、同様に待機児童数は減りつつはあるものの、まだまだ地域によっては解消されていない現状があります。法人の職員のためや永続的な運営のため、これまで認可保育所を他地域へ展開させるため、様々な地域での保育園の公募に挑戦されている法人様も皆様の中にはいらっしゃるかと存じます。

しかしながら、多くの法人様は「公募にかける人員がおらず、中途半端な状態のまま公募を迎え、これまでの結果は惨敗」「資料は通ったがプレゼンテーションで他の法人に負けてしまい施設展開が未だ目途が立っていない…」というお声をよく聞きます。

現在の認可保育所を運営する中で、今回お伝えする学童保育は

- ・ これまで保育園で培ってきた安心安全な保育環境の整備が役に立つ
- ・ 学童保育を近隣に設置することで、（学区内の）保護者はその保育園に通わせ続けたいと思えるきっかけがつかれる
- ・ 学童保育所を運営することで様々な分野を学んだ人財が雇用できる
- ・ 子どもたちの成長を長期的に見ることができるので、今の保育の質がより向上する

といったメリットを持っています。

## ポイント2 子どもの人数に左右されない?! 安定した委託料

学童保育の中でも先の頁でお伝えした「公設民営学童」の場合、子どもたちの人数にかかわらず委託料・指定管理料が支給されるため、収入面では安定していると言えます。また、同様に委託・指定管理の場合には設備投資が無いことも大きなメリットです。

おおよそ、公立学童保育の業務委託にかかわる費用は、人件費が約7割程度を占めています。多くの場合、家賃や水道光熱費は自治体が負担し、業務委託料のなかに含まれないため、固定費となる法人負担額が保育事業と比較して少ない状態です。

これまで、先にご説明した民間学童（補助金を受けずに行う学童）と比較をすると、委託などで補助金をもらいながら運営することで法人負担は大幅に減少します。

## ポイント3 保育園の質の向上につながり保護者満足度が向上する

学童保育を運営することで、社会福祉法人立の認可保育所が最もメリットと感じるのは「保育園の質の向上」です。

2017年に幼児教育・保育の基準となる3つの法令が改定されましたが、その内容には「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」が示されています。この10の姿は、これまで5領域で考えられてきたものを、年長さんではより具体的なイメージを持って保育・教育をおこなっていくことの大切さが具体的に書かれています。

保育士は「卒園」という一つの区切りを考え保育をしてしまいがちですが、子どもたちにとってはその後の成長の通過点であり、とても大切な時期だからこそ、先の成長を見据えた保育が大切である、ということかと思えます。

しかし、いざ保育に10の姿を当てはめて考えようとする、先の姿が見えないこともあり、これまでの保育と変わるところが無い、という現場の先生の声をよく聞きます。

そんな時に、学童保育を運営していらっしゃる法人様では、すでに成長した子どもの姿を見ることができるので、これまでの保育を連続して見ることができるので、現在の保育の質の向上に大きく貢献します。先生たちの自信にもつながるのです。

また、学区があるので全園児とはいきませんが、学童保育所を運営しているからこそ、敬愛学園が運営する保育園を選ばれる家庭もおおいです。

## まず、何から始めるか？！

1. 参入検討中の自治体の公募状況の確認
2. 公募対象施設の種類が放課後事業のうち、いずれに当てはまるのか確認
3. 収支の想定、参入の可否判断
4. 配置予定職員の放課後児童支援員認定資格研修の受講
5. プロポーザル対策

公立学童保育への参入にご興味がある法人様、  
次の頁をご確認ください！



## 認可保育園を運営されている法人様限定 学童保育事業 新規開設セミナーのご案内

**船井総研初開催！公立学童保育事業への参入を徹底解剖！**

**2019年7月30日（火） 東京会場**

ここまでレポートをお読みいただきありがとうございました。

今まで保育園を運営されてきている法人様であれば、公立学童保育所の立ち上げはそう難しいものではないかもしれません。しかしながら、最短で事業を成功させるためには、力をかけるべきポイントに専念し、スピード感を持って成果を出すことが必要だと考えます。

また、すでに成功されている方の事例を基に自法人独自の「認可保育園×公立学童保育所」の運営方法を今後検討していくことが、今後待機児童が0になっても選ばれる法人運営の基盤を築くことが出来ると考えております。 現在認可保育園と公立学童保育所をすでに両方運営していらっしゃる法人様も、ぜひ一度セミナーに足を運んで気づきを得ていただけましたら幸いです。

今回のセミナーは誌上でもご紹介した社会福祉法人敬愛学園の理事長・学園総合長の塚本定代氏にご登壇いただき、公立学童保育所の戦略的なドミナント展開、認可保育園と一緒に運営するからこそ得られる地域、自治体、職員、保護者、子どもたちから必要とされる法人運営についてお話いただきます。

**待機児童0になっても地域で選ばれる法人になるために、  
認可保育園と公立学童保育所を運営する方法をぜひ、聞きにいらしてください。**

# 当日セミナーでお伝えする内容 ～全20テーマ～

1. 保育業界の最新動向
2. 公立学童保育所の最新情報
3. PEST分析でわかる！学童保育所における国の施策
4. 今後増えてくるのはどのような公立学童保育所なのか？！
5. 認可保育所とどう違う？従事する職員の特性や資格の違い
6. 敬愛学園の公立学童保育所大公開
7. 実際に運営してみて分かった、認可保育所と公立学童の運営体制の違いとは？
8. 戦略的なドミナント展開！必要な考え方とは
9. 実体験から学ぶ！認可保育所×公立学童保育所の運営で得られたメリットとは？
10. 公立学童保育所の運営のポイントとは？
11. 直営から引き継ぐ際の職員の採用と育成
12. 研修はどのような方法で行うのか？
13. 公立学童保育所と認可保育所の参入の方法の違いとは？
14. 徹底解説！公立学童保育所の公募に必要な条件とは
15. 公募要項、仕様書の確認の際のポイントとは
16. 成功している学童保育所とそうではない学童保育所の違いとは？！
17. どのように始めるのか？自治体との確認方法
18. 公募対策で絶対に抑えるべき条件とは？
19. 子育て支援機関としての役割を考える！
20. 公立学童保育所の収支シミュレーションを大公開！

## 講師紹介

### 第一講座：保育業界の動向と学童保育業界の最新情報大公開



株式会社船井総合研究所 保育・教育支援部 近藤 めぐみ

東京学芸大学大学院卒業後、大手保育事業会社に入社。入社後6年間、公設民営の学童・児童館の開設、運営管理、プロポーザル業務に携わる。  
船井総研入社後、公立学童（放課後児童クラブ）の参入へのサポートを中心に従事する。

### 第二講座：＜スペシャルゲスト＞認可保育所と学童保育の連携をかなえる組織体制



社会福祉法人 敬愛学園 理事長・学園総合長 塚本 定代 氏

1947年10月25日生まれ。東京都八王子市出身。  
白梅学園短期大学保育科・保育専攻科卒業後、八王子市立保育園にて勤務  
その後、敬愛学園内保育園にて園長を歴任し、現在、社会福祉法人敬愛学園理事長として、東京都八王子市と町田市で11か所の認可保育園と八王子市内8か所の学童保育所を指定管理者として経営。  
また、日常的に（学園総合長として）保育カウンセラーの資格を活かし、職員や保護者の心に寄り添い、一人ひとりを大切に、後世に保育の醍醐味を伝承する活動に尽力する。

### 第三講座：成功事例とその具体的なポイント

株式会社船井総合研究所 保育・教育支援部 近藤 めぐみ

### 第四講座：まとめ講座

株式会社船井総合研究所 保育・教育支援部 保育グループ グループマネージャー 伊藤 沙穂理



船井総研に入社後、採用や評価制度、研修を主としたマネジメント支援をさまざまな業種で実施。4月に実施している新入社員研修には、毎年100名を超える新入社員が参加している。  
保育業界においては、保育園の立ち上げを中心にコンサルティングを行い、認可・認可外ともに立ち上げ経験を持つ。また、立ち上げ後の職員フォローとして女性目線でのサポートにも定評がある。  
近年は評価制度構築運用、企業主導型保育所の立上げ、開園後の園児募集や職員マネジメントなど、幅広くコンサルティングを行っている。

日時・会場

東京会場

2019年7月30日(火)

(株)船井総合研究所 東京本社
〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-6-6 日本生命丸の内ビル2階
JR「東京駅」丸の内北口より徒歩1分

開催時間(受付12:30より)

開始 終了

13:00 ▶ 16:30

諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場は受講票にてご確認ください。
また最少催行人数に満たない場合、中止させて頂く場合がございます。尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いは致しかねますので、ご了承下さい。

受講料

一般企業:(一名様)30,000円(税抜)(32,400円(税込))

会員企業:(一名様)24,000円(税抜)(25,920円(税込))

※お振込みの際は税込金額にてご入金をお願いいたします。

- 受講料のお振込みは、お申込み後速やかにお願いいたします。
●ご入金確認後、受講票の案内をもってセミナー受付とさせていただきます。
●万一、開催4営業日前までに受講票の案内が届かない場合や、セミナー開催4営業日前までにお振込みできない場合は、下記へご連絡ください。なお、ご入金を確認できない場合は、お申込みを取消させていただきます場合がございます。
●ご参加を取り消される場合は、開催日より3営業日(土・日・祝除く)前の17時迄にお電話にて下記申し込み担当者までご連絡くださいますようお願いいたします。それ以後のお取消しの場合は、受講料の50%、当日および無断欠席の場合は、100%をキャンセル料として申し受けますのでご注意ください。
●会員企業様とはFUNAIメンバーズPlus、各業種別研究会にご入会中の企業様です。

お申込方法

WEBからのお申込み

下記QRコードよりお申込みください。クレジット決済が可能です。

受講票はWEB上でご確認くださいませ。

FAXからのお申込み

入金確認後、受講票と地図を郵送いたします。

お振込いただいたにも関わらずお手元に届かない場合は、下記申込み担当者までご連絡ください。

お振込先

セミナーご参加料は下記の口座に直接お振込み下さい。

三井住友銀行(0009)近畿第一支店(974)普通預金 口座番号:5785192
口座名義 カ)フナイソウゴウケンキウシヨ セミナーグチ

お問い合わせ



明日のグレートカンパニーを創る

Funai Soken

株式会社 船井総合研究所

TEL 0120-964-000

(平日9:30~17:30)

●お申し込みに関するお問合せ:星野

FAX 0120-964-111

(24時間受付中)

●内容に関するお問合せ:近藤



※ご入金確認後、受講票の案内をもってセミナー受付とさせていただきます。

【お申込みはこちらから】

お問い合わせNo. S048721

公立学童参入セミナー
【ご記入欄】

FAX:0120-964-111

担当者:星野

FAXお申込用紙

Form with fields for participant name, affiliation, contact info, and seminar details.

「セミナーで具体的にこんなことを聞きたい!」というご要望があればご記入ください。※出来るだけ意見は反映させていただきますが、必ずその内容を盛り込むとは限らないので予めご了承ください。

弊社会員組織(ご入会中の弊社研究会があれば○印をお付け下さい) ●FUNAIメンバーズPlus ●その他各種研究会(研究会)

【個人情報に関する取り扱いについて】

- 1.申込用紙に記載されたお客様の情報は、セミナーのご案内といった船井総研グループ各社の営業活動やアンケート等に使用することがあります。
2.お客様の情報管理につきましては船井総研グループ全体で管理いたします。
3.セミナーのご案内時に、いただきました住所・貴社名・部署・役職・ご担当者氏名を船井総研グループが個人情報の管理について事前に調査した上で契約しましたダイレクトメール発送代行

- 会社に発送データとして預託することがございます。
4.必要となる情報(会社名・氏名・電話番号)をご提供いただけない場合は、お申込のご連絡や受講票の発送等ができない等、お手続きができない場合がございます。
5.お客様の個人情報に関する開示、訂正、追加、停止又は削除につきましては、船井総研コーポレートリレーションズ・顧客データ管理チーム(TEL06-6204-4666)までご連絡ください。
【個人情報に関するお問い合わせ】
株式会社船井総研ホールディングス 総務部法務課(TEL03-6212-2924)

ダイレクトメールの発送を希望しません

※ご提供いただいた住所宛のダイレクトメールの発送を希望されないときは、☑を入れて当社宛にご連絡ください。

